

11. UAE

11.1 UAE の基本情報

11.1.1 廃棄物処理・3R関連情報

(1) 廃棄物処理・3R制度

<全般・基本法>

① 連邦法 No. 24 (Federal Law No.24) (2001 年制定)

UAE における環境保護に係る全般的な基本法としては連邦法No.24 (Federal Law No.24) がある。2001 年2 月に制定された同法は101 条から構成されており、開発と環境に関する項目(環境影響、環境モニタリング等)、水環境保全、土壌環境保全、大気環境保全、有害物質管理、環境被害罰則等、幅広い分野を包含する内容となっている。

表 1 UAE 連邦法 No.24 の構成

第 1 章	" 開発と環境" (第 3 条～第 16 条) を網羅しており、環境影響 (セクション 1)、環境及び持続可能な開発 (セクション 2)、環境モニタリング (セクション 3) 及び緊急時及び環境的な災害対応計画 (セクション 4) の 4 つのセクションから構成されている。
第 2 章	第 2 章 (第 17 条～第 41 条) は、海水、淡水、飲用地下水を含む水環境の保全について規定している。
第 3 章～第 5 章	第 3 章、第 4 章、第 5 章 (第 42 条～第 62 条) は、土壌環境の保全、大気環境の保全、及び有害物質や廃棄物の管理について規定している。
第 6 章	第 6 章 (第 63 条～第 68 条) は、自然保護区の位置や境界を規定するための法的要求事項を定めている。
第 7 章	第 7 章 (第 69 条～第 71 条) は、環境的な被害に対する義務や補償、罰則について規定している。
第 8 章	第 8 条は UAE の海洋司法権について規定しており、それぞれの罰則の内容等について記載されている。

出典：経済産業省「環境問題に関する OECD 加盟国等の貿易保険制度調査報告書 Part II 事業実施諸国における環境関連規制」平成 19 年 2 月

② アブダビ首長国 統合戦略計画 2009-12013 (Entity Strategic Plan 2009 - 2013)

アブダビ環境保護局 (EAD) における政策の優先順位を定めた計画である。アブダビ環境保護局 (EAD) の SWOT 分析、水、大気等各分野の現状を整理した上で、水資源、大気、気候変動問題、廃棄物管理の順で優先順位を設定している¹。

表 2 アブダビ首長国における統合戦略計画 2009-2013 における優先順位設定

優先権コード	優先権	優先区分*	Outcome(s)** (Service Delivery Output Priorities)
EAD-01	Improve the quantity and the quality of water resources of the Emirate of Abu Dhabi	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment
EAD-02	Improve Air Quality	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-03	Develop Climate Change Framework		
EAD-04	Set Waste Management Policy and Regulations	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-05	Protect the society and Environment from hazardous materials	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-06	Conserve Abu Dhabi's Biological Diversity	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment
EAD-07	Increase Society's Environmental Awareness	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-08	Champion the implementation of the environment, Health and Safety Management System	Service Delivery Priority	Economic and social development managed in an environmentally way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-09	Promote organizational Efficiency through performance management and private sector service delivery	Capabilities Building priorities	Economic and social development managed in an environmentally sustainable way An informed and aware population contributing to environmental sustainability Clean protected and safe environment Healthy and safe work environment
EAD-010	Increase the efficient use technology as a key enabler		
EAD-011	Improve cross functional Knowledge sharing		

EAD-012	Maximize Effectiveness of Human Capital		
EAD-013	Improve intra and Inter departmental communication		

* Priority Category: Priorities are classified into 2 categories...Service Delivery Output Priorities and Capabilities Building priorities (Processes & Technology and People Development)

** Outcome(s): Based on agreed-upon and approved list of Abu Dhabi Performance Management Framework

出典：Entity Strategic Plan 2009 – 2013、Abu Dhabi Government 2009.2

③ アブダビ首長国 統合廃棄物管理基本計画（M/P）（準備中、2015 年までに作成予定）

2015 年から 2040 年までの 25 年にわたる基本計画である。本計画は、廃棄物管理戦略における以下の 7 つの目標を達成するためのツールである。

廃棄物管理戦略における 7 つの目標

- 一人あたりの廃棄物発生量を 2.2kg から 1.6kg に減らす
- 建設廃材の量を 55kg/GDP Construction 以下に減らす
- 埋立地に運ばれる一般廃棄物の量を 20%減らす
- 埋立地に運ばれる農業廃棄物の量を 5%減らす
- 全ての廃棄物を衛生的な埋立地へと運ぶ
- 全ての医療廃棄物と危険廃棄物を処理する
- 残留廃棄物の 60%を廃棄物発電に利用する

図 1 統合廃棄物管理基本計画における目標

出典：Short-Term Comprehensive Assessment for the Center of Waste Management, Abu Dhabi (SWM), JICA, 2014

<廃棄物処理・3R 関連法>

① 連邦法 No.24 廃棄物管理規則（2001 年制定）

連邦法 No.24 の第 58 条～62 条において有害物質の取扱い、廃棄物及び医療廃棄物にかかる事項を規定しており、取扱いや処分、輸送、輸出入手順を定めている。

ただし、廃棄物処理は原則的に各首長国や首長国内自治体関連機関の責任となっており、連邦政府としての統一的な廃棄物関連政策はほとんど見られない。

② 有害物質、有害廃棄物および医療廃棄物の取扱いに関する実施細則

有害物質、有害廃棄物、医療廃棄物を取扱う際の許認可取得についての規定で、許認可機関を定めている。また、有害物質等の分類基準や分別規定を定めている。

③ アブダビ首長国 首長国法 No.17, No. 21（2005 年）

No.17 では、廃棄物の包括的な管理（収集、輸送、処理、廃棄）を行うアブダビ廃棄物管理センターの設立を規定している。No21 では、廃棄物収集、処理等各プロセスの責任の所在等を規定する。

④ NADFA Waste Reduction Policy (NWRP)

NADFA Waste Reduction Policy (NWRP)が 2013 年 3 月に発効した。これは廃棄物発生量の削減とリサイクル量の増加を目指したもので、廃棄物の産出者には廃棄物量レポートの提出が求められる。このレポートで申告された廃棄物量に応じて、またレポートが有効でない場合にはその施設の大きさから推定される廃棄物量に応じて、廃棄物費用の支払い額が決まる。

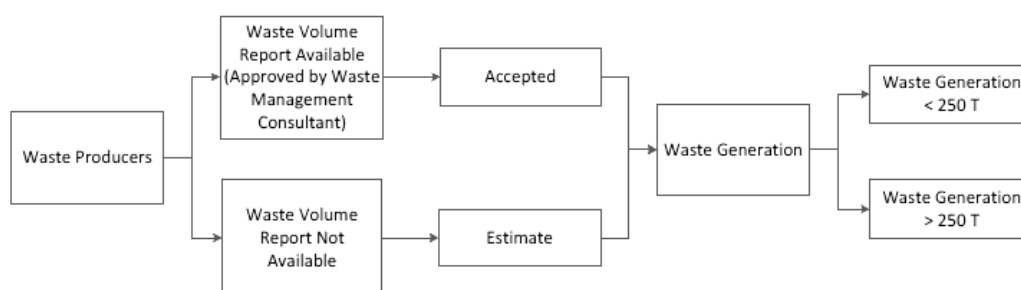


Figure 1: Waste Generation

図 2 NWRP の廃棄物費用システムと廃棄物量の関係

出典：Waste Reduction Policy, The Center of Waste Management, 2012

NWRP では更に、廃棄物の産出者に対して、購入する物品には最低 10%以上のリサイクル製品が含まれているべきであるとの指針が示されている。

(2) 廃棄物処理・3Rに関する中央政府や地方自治体の行政機関、関係団体等に関する情報

UAE 連邦法では 1993 年に設立された UAE 連邦環境局 (FEA: Federal Environmental Agency) が UAE の環境所管官庁であるが、各首長国に設置されている環境関連機関も連邦法の適用に責任を有する。アブダビではアブダビ環境保護局 (EAD: Environment Agency - Abu Dhabi) が、ドバイではドバイ観光・商業マーケティング局が、自然環境保護、生物保護等の法的義務を負う機関となる。ただし、首長国によっては環境に関する政策を執行する機関が設置されていないケースもあり、比較的先進的なアブダビ環境保護局やシャルジャー保護地環境局 (EPAA: The Environment of Protected Areas Authority) が全国の環境保護サポートを行う。特にアブダビ首長国の環境政策は同国でも最も積極的であるとされる。

また、各首長国には貴族 (Ruling Family) がおり、貴族は法的拘束力のある命令 (Decree) 発出により保護区の設定や、鯨保護や、狩猟禁止など特定目的の環境関連規制の導入等を

行うことができる。

首長国の主要都市には地方自治体があり、大規模な都市部では、ドバイ市環境局など廃棄物管理や水供給などを担う環境管理センター等を設置するケースもある。

<中欧政府レベル>

■UAE 連邦環境局 (FEA)

UAE 連邦政府の環境分野における主要機関で、1993 年に設立された。同局の業務範囲は、1) 国内の環境保護・開発、特に人々の健康、農作物、野生生物、海洋生物、その他の自然資源や大気環境に対して影響を及ぼす活動を防止するために必要な計画や政策の決定、2) 決定された計画や政策の実施、3) 環境の劣化を防止するための適切な対策の実施、4) 全ての環境汚染への対応、5) 現在及び将来の公共の福祉のための汚染の最小限化である。

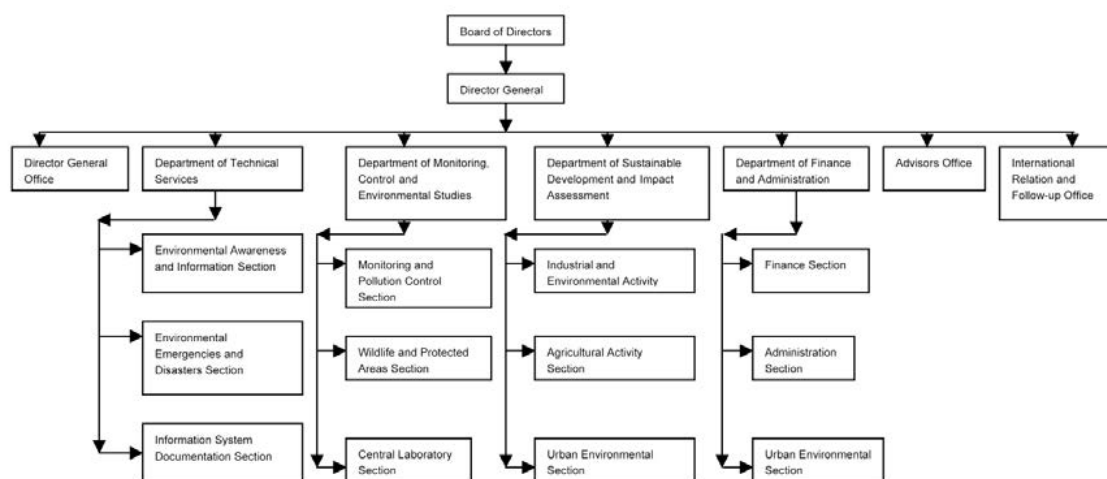


図 3 UAE 環境保護局の組織構成

出典：経済産業省 環境問題に関する OECD 加盟国等の貿易保険制度調査報告書 Part II 事業実施諸国における環境関連規制 平成 19 年 2 月 委託先：財団法人 地球・人間環境フォーラム

<首長国レベル>

■アブダビ廃棄物管理センター(CWM)

アブダビ首長国における廃棄物管理および害虫駆除を担当している。都市ごみに関しては一切の責任を負っているほか、産業・事業系廃棄物の規制権限を有している。

出典：Short-Term Comprehensive Assessment for the Center of Waste Management, Abu Dhabi (SWM), JICA, 2014

■アブダビ環境保護局(EAD)

アブダビ首長国の環境行政機関。廃棄物分野における監督官庁である。他の首長国の環境保護対策に積極的に支援を行っている。

■シャルジャ-保護地環境局（EPAA）

シャルジャ首長国における環境、野生生物及び生物多様性の保護を目的としており、自然資源を保護し、現在及び将来に渡っての最適な利用を推進している。また、同局は様々な情報センターと連携し、UAE 全体における環境保護や安全サポート、環境啓発を実施している。

■ドバイ-観光・商業マーケティング局（Department of Tourism and Commerce Marketing）

ドバイ首長国には環境保護専門の部局がなく、観光・商業マーケティング局が環境保全を担当。主な役割は、自然資源の保護・保全及びドバイ首長国における保護地域の設立である。なお、ドバイ首長国内の自治体であるドバイ市には環境局があり、ドバイ市内において環境保護、労働安全及び廃棄物管理・処分に係る効果的なサービスを提供している。

（3）廃棄物の種類毎の発生量及びその総量並びにこれらの将来予測

<全体>

首長国別の廃棄物総量とその時系列推移は以下の通りである。

表 3 首長国別の廃棄物総量とその時系列推移

Emirate	Year			
	2009	2010	2011	2012
Abu Dhabi	9,625,006.0	10,092,690.0	10,701,037.5	12,884,554.0
Dubai	21,882,792.0	14,313,024.0	10,041,639.0	9,581,640.0
Sharjah	2,624,656.0	2,213,980.5	2,751,207.0	2,589,351.1
Ajman	285,211.0	185,446.7	290,706.9	450,448.2
Umm Al-Quwain	107,766.0	105,798.0	134,400.0	135,020.0
Ras-Al Khaimah	314,630.0	187,841.0	216,375.2	267,477.6
Fujairah	487,676.0	972,420.1	153,105.5	258,108.3
Total ¹	35,327,737.0	28,071,200.3	24,288,471.0	26,166,599.1

出典：Waste Statistics 2012, National Bureau of Statistics

危険廃棄物を除いた、首長国別の廃棄物総量の種類内訳は下図の通りである。

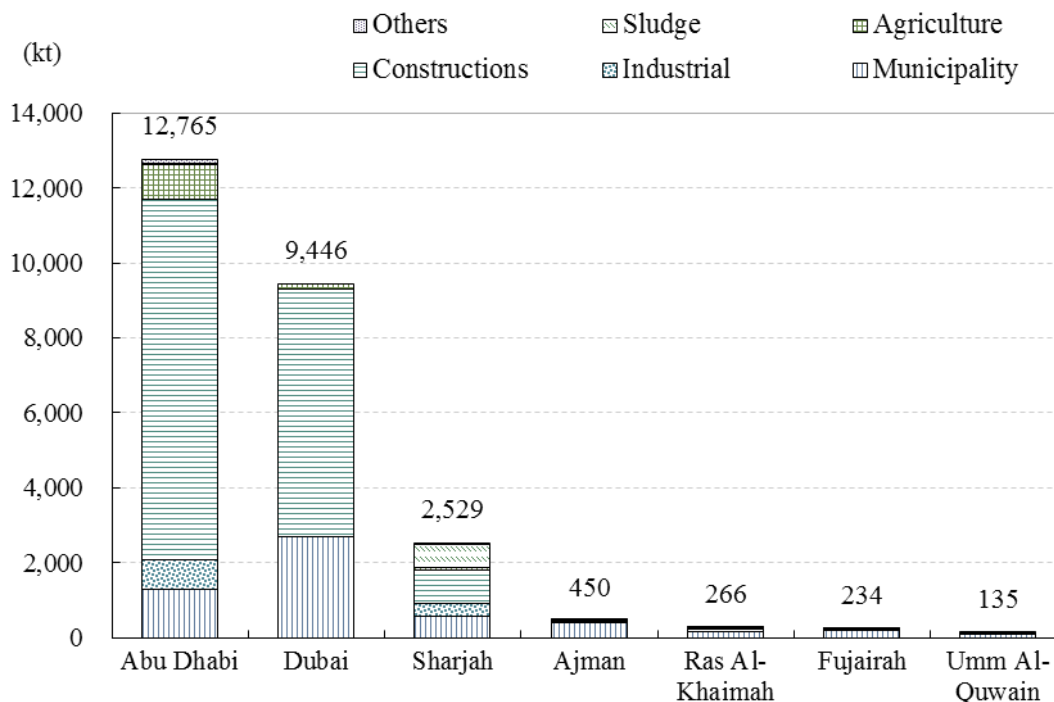


図 4 危険廃棄物を除く廃棄物総量の内訳 (2012)

出典：Waste Statistics 2012, National Bureau of Statistics を元に作成。

上記の図では、各首長国を廃棄物総量の多い順に並べ替えた。圧倒的に廃棄物総量が多いのはアブダビとドバイの 2 国である。これらの国では、建設廃棄物が廃棄物総量において非常に大きな割合を占める。一方、北方の小国では、都市ごみが総量の内半分以上の割合を占めている。

<都市ごみ>

首長国別の都市廃棄物発生量及びその廃棄物総量に占める割合は以下の通りである。

表 4 首長国別の都市廃棄物発生量とその廃棄物総量に占める割合 (2012)

Emirate	Total(トン)	%
Abu Dhabi	1,272,668.0	10.0
Dubai	2,676,297.0	28.3
Sharjah	556,055.7	22.0
Ajman	379,515.0	84.4
Umm Al-Quwain	83,200.0	61.6
Ras-Al Khaimah	162,559.1	61.1
Fujairah	194,697.4	83.2

Total	5,324,992.2	20.6
--------------	-------------	------

出典：Waste Statistics 2012, National Bureau of Statistics

<産業廃棄物>

首長国別の産業廃棄物発生量及びその廃棄物総量に占める割合は以下の通りである。

表 5 首長国別の産業廃棄物発生量とその廃棄物総量に占める割合（2012）

Emirate	Total (トン)	%
Abu Dhabi	804,174.0	6.3
Dubai	-	-
Sharjah	344,319.2	13.6
Ajman	48,130.0	10.7
Umm Al-Quwain	18,250.0	13.5
Ras-Al Khaimah	9,760.0	3.7
Fujairah	2,700.0	1.2
Total	1,227,333.2	4.8

出典：National Bureau of Statistics

- (4) 廃棄物の処理方法毎の処理量及びその総量並びにこれらの将来予測
関連情報入手できず
- (5) 廃棄物処理・3Rに係るインフラ整備状況及びその将来予測
関連情報入手できず
- (6) 廃棄物処理・3Rに係る市場規模及びその将来予測
関連情報入手できず
- (7) 廃棄物処理・3Rに係る企業の状況（企業数、業態、売り上げ等）
関連情報入手できず
- (8) 廃棄物処理・3Rに係る人々の意識
関連情報入手できず
- (9) 廃棄物処理・3Rに関するビジネス慣習
関連情報入手できず

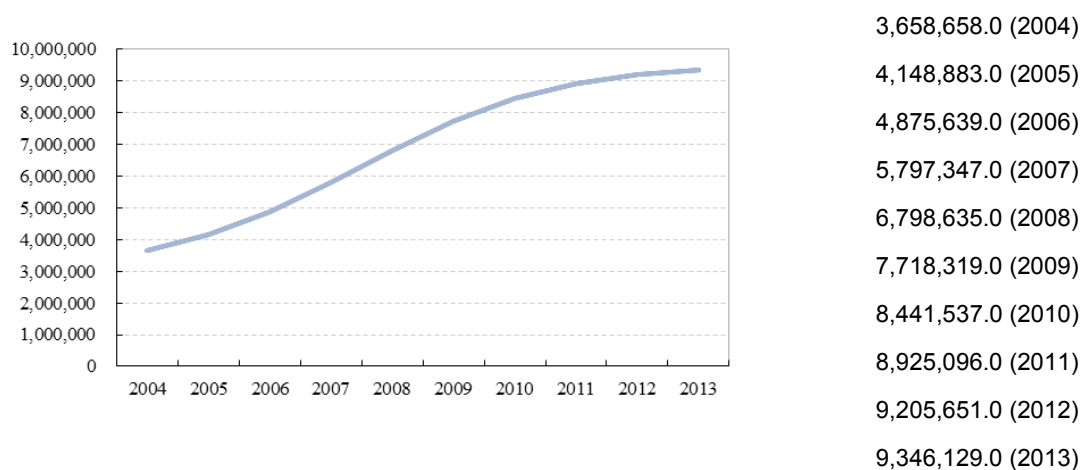
(10) 日本の他省庁・関係団体の関連する活動
 関連情報入手できず

(11) 廃棄物関連産業育成計画
 関連情報入手できず

(12) 廃棄物処理・3Rに関する情報源情報

11.1.2 社会・経済の状況

(1) 人口の経年推移

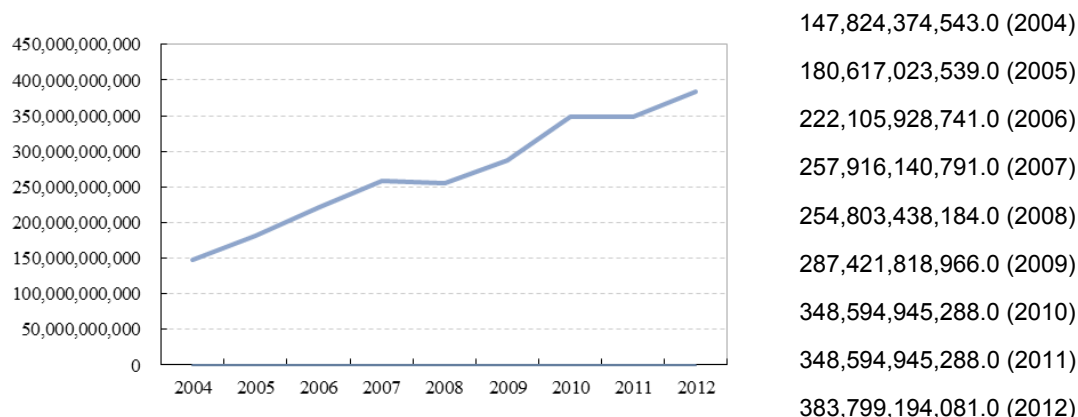


出典：世銀ウェブサイト <http://data.worldbank.org/indicator> (最終アクセス日：2014年10月28日)
 グラフは筆者作成。

図 5 人口の推移

- ・ アブダビ首長国：233万4,563人（2012年推定、アブダビ統計局）
 （ただし、アブダビ自国民は47万6,722人）
- ・ ドバイ首長国：210万5,875人（2012年推定、ドバイ統計センター）

(2) 国内総生産の経年推移



出典：世銀ウェブサイト <http://data.worldbank.org/indicator> (最終アクセス日：2014年10月28日)
 グラフは筆者作成。

図 6 国内総生産の推移

(3) 産業構造

表 6 産業部門別国内総生産

	2009	2010	2011	*2012	構成比	伸び率
農・畜産・漁業	8.2	7.3	7.4	7.4	0.7	0.5
原油・天然ガス	284.9	295.8	315.4	338.3	33.0	6.3
採石	2.9	3.1	3.0	3.0	0.3	0.2
製造業	81.0	83.2	90.7	91.8	9.0	1.2
電気・ガス・水道	23.0	23.7	26.5	28.0	2.7	5.9
建設	106.2	105.4	102.8	102.9	10.0	0.1
卸売・小売・修理	124.9	127.4	127.6	128.4	12.5	0.6
レストラン・ホテル	17.5	17.5	18.8	19.5	1.9	3.6
運輸・倉庫・通信	87.6	88.3	91.1	93.3	9.1	2.4
不動産・リース	99.0	98.8	101.7	108.1	10.5	6.3
地域・社会サービス	20.6	21.0	22.3	25.3	2.5	13.4
金融	69.1	64.7	67.4	71.5	7.0	6.0
政府サービス	44.1	49.7	51.6	56.4	5.5	9.2
家事サービス	3.9	4.1	4.4	4.5	4.4	3.0
銀行サービスフィー	△42.4	△43.9	△43.9	△49.7	4.8	3.6
GDP (実質)	930.5	946.0	982.7	1,025.6	100.0	4.4
非石油部門	645.6	650.2	667.3	690.3	67.3	3.5

出典：Economic Sectors Time Series, National Bureau of Statistics

連邦政府は過去 30 年余にわたり、石油・ガス産業依存から経済の多様化を図るため産業基盤の発展に努め、製造業を中心とする国内産業の育成開発、外国企業の産業誘致などを推進してきた。今日、製造業は石油・ガスに関連した石油精製、石油化学およびアルミ精錬などの分野をはじめ、金属加工、卑金属鉱物製品、プラスチック、セメント、食品、家具、繊維、製薬、窯業、紙加工なども発展している。

また、ドバイのジュベル・アリ・フリーゾーン（JAFZ）をはじめとする 7 首長国 32 箇所（2013 年）の FZ が外資を誘致し、工業化を図っている。内外からの進出企業数は 8000 を超える。現在はアブダビ初のフリーゾーンとなるハリーフア工業団地（Khalifa Industrial Zone of Abu Dhabi, KIZAD）の建設が進んでいる。

出典：ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』

（４）物流

<道路・鉄道>

UAE は同国交通マスタープランに基づき、道路網の整備拡充および公共交通システムの開発を推進している。特に、高架・地下トンネルを併用したモノレール（ドバイメトロ）を公共交通機関として最優先で建設している。2009 年 9 月にレッドライン系統が運航を開始した。また、道路整備関連プロジェクトのうち最大プロジェクトはシェイク・ザード通りと平行するシェイク・ラーシド通りの延長（108km）工事で、4 億 6,000 万ドルが予算配分されている。ドバイ陸運局は、都市部の交通渋滞の緩和および環境保全対策上から、市民に対し自家用車通勤に替わる公共輸送機関利用を呼びかけている。

2009 年の開業以来ドバイメトロの利用客は大幅増加傾向にあり、2012 年の年間利用客は 1 億 950 万人に達した。ここから 1 日平均の利用者数を計算すると約 30 万人となる。ユニオン駅の位置する市内中心部ダイラ地区の周辺は、地下鉄開通後、地上部分の交通渋滞による混雑が問題となっており、駅周辺を含めダイラ地区の再開発が検討されている。

一方、アブダビにおいてもアブダビメトロ計画が検討されており、2014 年前半期に建設プロジェクト 2 案件の応札準備が進められている。計画案によると、①メトロ建設（ザード港～ビジネス街地区/18km）、②LRT 建設 2 系統、ブルーライン（マリーナモール～リーム島/15km）、グリーンライン（カラマ～サアディーア島/13km）である。

なお、アブダビ起点とする各首長国首都への距離は、アブダビ～ドバイ間（166km）、同～シャルジャ（176km）、同～アジュマン（186km）、同～ウナム・アル・カイワン（206km）、同～ラス・アル・ハイマ（256km）、同～フジャイラ（292km）である。

<港湾>

UAE には石油積出ターミナル、コンテナ・工業製品を取扱う大商業港から伝統的なダウ船・木造専用の船着き場に至るまで大小 20 を超える港湾が存在する。UAE の輸出入物資の

体部分は港湾経由であり、主要商業港の 2008 年貨物積降量は国内の経済ブームを反映し過去最高を記録した。主要商業港を首長国別にみると、アブダビはザーイド港、新ハリーファ港の 2 港、ドバイはラーシド港、ジュベル・アリ港の 2 港、シャルジャはハーリド港、コール・ファッカン（オマーン）港の 2 港を有している。また、アジュマンのアジュマン港、ウナム・アル・カイワンのアフマド・ラーシド港、ラス・アル・ハイマのサクル港、フジャイラのフジャイラ港がある。なお、ハリーファ港は 2012 年 12 月に新港として開港した。ハリーファ新港は最先端技術の港湾システム・施設を有しており、貨物の積下作業は従来型港湾と比べ大幅にスピードアップしている。一方、ドバイのジュベル・アリ港は、新コンテナ・ターミナルの増設等の港湾施設の大幅整備拡充を進め、これによりラシード港の操業規模が縮小している。

2012 年ドバイの全港湾への船舶入出港規模を船舶種別にみると、最大がコンテナ船 8,453 隻、次いで一般貨物船 941 隻、ローロー船 560 隻、客船 144 隻、その他 1 万 1,840 隻、早慶 1 万 9,938 隻となっている。

<航空>

UAE は昨今の著しい経済発展を背景に、ドバイおよびアブダビ両国を中心に大規模の整備拡張を進めている。現在、連邦諸国には 8 つの空港がある。3 大空港（アブダビ国際空港、ドバイ国際空港、現在建設中の新マクトーム空港）と、アル・アイン空港、シャルジャ空港、アジュマン空港、フジャイラ空港、ラス・アル・ハイマ空港である。主要空港別の乗降客数をみると、ドバイ空港は 6,650 万人（2013）、アブダビ空港は 1,489 万人（2012）、シャルジャ空港は 851 万人（2013）であった。

ドバイのエミレーツ航空（Emirates Airline）は 1985 年に就航以来、2013 年現在、6 大陸 138 都市へ路線網を展開する世界最大級の航空会社に成長した。ドバイ国際航空のターミナル 3 は現在エミレーツ航空専用である。同航空が導入したエアバス 380 用の乗降専用施設の稼働開始により、当国際空港の旅客収容能力は年間 6,500 万人に拡充される見込みである。また、格安航空会社フライドバイ（Fly Dubai）は中東アラブ圏、東欧、中欧、インド亜大陸へ路線網を広げている。

また、アブダビからはイッティハード航空（Itihad Airways）が就航している。同航空は 2003 年に就航を開始し、10 年後の 2013 年には 6 大陸 86 都市へとその路線網を拡大している。

シャルジャのエア・アラビア（Air Arabia）は 2006 年 10 月に格安航空として就航した。同空港はシャルジャ、カサブランカおよびアレキサンドリアの 3 空港を拠点に欧州、北・中央アフリカ、中近東、南西アジア、CIS などの諸都市に路線網を拡大している。シャルジャ空港からは 41 路線、カサブランカ空港からは 13 路線、アレキサンドリアからは 5 路線が運航している。

出典：ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』

(5) 商習慣

<勤務時間・定休日>

官公庁は金曜日・土曜日が全休、一般企業は木曜日は半休・金曜日は全休とするところが多い。

<外国人労働力への依存>

UAE は連邦結成以来、近代国家建設に投入する自国民人口の量的不足をカバーするため、外国人労働力に大幅な依存を続けている。外国人への依存比率を民間セクターおよび政府セクター別にみると、政府部門は 15%だが、民間部門では 65%と依存度は高い。

2014 年現在、UAE 国家統計局の人口統計は、2011 年以後のデータは公表されていない。なお、2010 年データ（推定値）によると、外国人は全人口の 9 割弱を占めているのに対し、自国民（UAE ナショナル）は僅か 1 割強を占めているに過ぎない。

この外国人の内 77.7%が男性であることから、単身の出稼ぎ労働者の増加が突出していることがわかる。

出典：ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』

(6) 生活習慣

<言語>

公用語はアラビア語。外国人労働者が多いため、英語も頻繁に使用される。ウルドゥ語、ペルシャ語も広く話されている。

<宗教>

イスラム教（スンニ派 8 割、シーア派 2 割）が 96%

<祝祭日>

2014 年の祝祭日は以下の通りである。

1 月 1 日 新年（New Year's Day）

1 月 13 日 預言者ムハンマド生誕日（The Prophet's Birthday）*

5 月 26 日 預言者ムハンマド昇天祭（Ascension of The Prophet）*

7 月 27 日 断食明け祭（Eid Al Fitr）*

～30 日

10 月 4 日 犠牲祭（Eid Al Adha）*

～7 日

10 月 25 日 イスラム歴新年

12 月 2 日 連邦結成記念日（National Day）

～3 日

注) イスラム歴のため、*の祝祭日は変動あり、直前まで未確定

出典：ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』

(7) 生活水準、平均年収

<月額賃金>

表 7 職種別の月額賃金〔単位：米ドル〕

ワーカー（一般工職）	950
エンジニア（中堅技術者）	3,793
中間管理職（課長クラス）	6,461
スタッフ（一般職）	調査対象外
マネージャー（課長クラス）	調査対象外
店舗スタッフ（アパレル）	490～1,633
店舗スタッフ（飲食）	408～1,089

出典：JETRO 投資コスト比較 <http://www.jetro.go.jp/world/search/cost/>（最終アクセス日：2014 年 10 月 31 日）表は筆者作成。

所属する経済セクターによって、労働者の月額報酬には大きな差が存在する。金融や工業・採石、電気・ガス・水道セクターではいずれも 1 万 DH を上回るが、建設および農業・漁業セクターでは 2,500DH に満たない。全経済セクターの平均額は 4,242DH である（2010 年）。

出典：ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』

(8) 歴史（廃棄物、環境問題等に関わるもの）

関連情報入手できず

(9) 廃棄物処理・3R事業を行う上での各種規制（環境規制、建築規制、物流規制）

関連情報入手できず

11.2 UAE の情報源情報

	情報内容	情報源	媒体	URL・書籍名	備考
(1) 廃棄物処理・3R 関連情報	①廃棄物処理・3R 制度	経済産業省「環境問題に関する OECD 加盟国等の貿易保険制度調査報告書 Part II 事業実施諸国における環境関連規制」平成 19 年 2 月	新聞・書籍	http://www.meti.go.jp/policy/trade_insurance/18-itaku-kankyoutyousa2.pdf	
	①廃棄物処理・3R 制度 ②廃棄物処理・3R に関する中央政府や地方自治体の行政機関、関係団体等に関する情報	経済産業省「平成 23 年度海外の環境汚染・環境規制・環境産業の動向に関する調査報告書」平成 24 年 3 月	新聞・書籍	http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2012fy/E002175.pdf	
	①廃棄物処理・3R 制度 ②廃棄物処理・3R に関する中央政府や地方自治体の行政機関、関係団体等に関する情報	Short-Term Comprehensive Assessment for the Center of Waste Management, Abu Dhabi (SWM), JICA, 2014	新聞・書籍		
	①廃棄物処理・3R 制度	Waste Reduction Policy, The Center of Waste Management, 2012	新聞・書籍		
	③廃棄物の種類毎の発生量及びその総量並びにこれらの将来予測	Waste Statistics 2012, National Bureau of Statistics	Web ページ	http://www.uaestatistics.gov.ae/EnglishHome/tabid/96/Default.aspx	
	(2) 社会・経済の状況	①人口の経年推移	世界銀行統計データベース	Web ページ	http://data.worldbank.org/indicator
②国内総生産の経年推移		世界銀行統計データベース	Web ページ	http://data.worldbank.org/indicator	
③産業構造 ④物流 ⑤商習慣 ⑥生活習慣 ⑦生活水準、平均年収		ARC 国別情勢研究会『ARC レポート アラブ首長国連邦 2014/15』	新聞・書籍		
③産業構造		Economic Sectors Time Series, National Bureau of Statistics	Web ページ	http://www.uaestatistics.gov.ae/EnglishHome/tabid/96/Default.aspx	
⑦生活水準、平均年収		JETRO 投資コスト比較	Web ページ	http://www.jetro.go.jp/world/search/cost/	